

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	新生児高血糖に対しスルホニル尿素薬を使用した 20 例を通し、症例を通じたスルホニル尿素薬の使用法の考察と尿糖のフォローが血糖コントロールに有用と考えられた症例の報告		
1. 研究の目的と方法	超低出生体重児（出生体重 1000g 未満）では高血糖がしばしばみられ、将来的な予後（敗血症、脳室内出血、壊死性腸炎、未熟児網膜症、神経発達など）に影響するとの報告がありますが、薬物治療について確立された方法はありません。インスリンという薬がよく使用されますが、超低出生体重児ではインスリンによる血糖コントロールが難しいことが多く、低血糖も起こりやすいです。 一方、スルホニル尿素薬という内服薬は成人や小児の糖尿病で用いられている薬剤で、超低出生体重児での使用報告は少ないながらも有効性や安全性が報告されています。当院でも超低出生体重児の高血糖に対し、スルホニル尿素薬を使用することがあり、本研究ではこれまでにスルホニル尿素薬を投与された方の治療効果を検討することで、今後の患者様への利益へ還元することを目的としています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026 年 6 月 30 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2016 年 1 月 1 日から 2024 年 4 月 1 日までに当院で出生し、高血糖治療のためにスルホニル尿素薬を投与された新生児。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	母体情報、児の臨床情報、診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査、心理検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 小児科学講座
		氏名	林 至恩（はやし しおん）
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2024年9月以降
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 小児科学講座 研究責任者：助教 林 至恩（はやし しおん） 電話番号：03-3433-1111（内線 3196） 対応時間：平日 09：00 ～ 16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。